

幼児だより8月号

【夏が始まった合図がした！】

じめじめとした梅雨が明け、気温が一気に高くなり、本格的な夏がやってきました！
待ちに待ったプールが解禁で大喜びのこどもたち。美味しいスイカを食べてからプールを楽しみました。
コスモではリーダーと一緒に水に顔を付ける練習をしたり、宝探しや鬼ごっこを楽しみましたよ！



プールさいこう~~~~~！！！！

【夏野菜おいしい♪】

育てていた夏野菜が実ったので食べています。そのまま食べたり、炒めたり…。うみさんは夏野菜ピザを、そらはピーマンご飯を作ったりもしましたよ！



【大相撲、みどりの場所】

暑い夏に負けないくらい熱い戦いもありました。うみ対そらのお相撲大会です！
勝って嬉しい、負けて悔しい、1試合ごとにドラマがあったお相撲大会はうみ 10 勝、そら 11 勝で、今回はそらグループに軍配が上がりました。そらさんおめでとう！
負けたうみさんは悔しいです。「そらさんに勝ちたい」と気持ちを話してくれる子も…。
近いうちに再戦できればと考えています！

クラス内でトーナメント戦をしてからお相撲大会に挑みました！



負けて悔しくて涙がポロリ…



あえて、むずかしく！

妖怪パズルの裏面にモノクロの妖怪パズルの絵があることに気づいたMちゃん。それを見ながらパズルをしていました。変わったことを思いつくな〜と気になって保育士が近づくと「むずかしいんだよね〜」と言いながらパズルをしていました。

「普通にするのと、こうするの。どう違う？」と質問してみると「普通にすると(ボードに)線があるけど、これはないからわからないんだよ〜！」と話すMちゃん。でもその難しさが年長であるMちゃんにとっては面白いみたいです。

普段と違うやり方でパズルを楽しむMちゃんの姿に共感した友だちと一緒に頑張っていきます。



Mちゃん



そのうち完成。普通にするより時間がかかっていました。ちょうど片付けの時間になったので直すように声をかけます。すると…。

あ、そのままかぶせた…

そっからどうするねん…と思いながらMちゃんたちの動きを待っているとMちゃんが一言。

「え！？こっからどうしたらいの！？」
やっぱりMちゃんも思ったみたいです(笑)
どうするのかとそのまま見守ってれば…

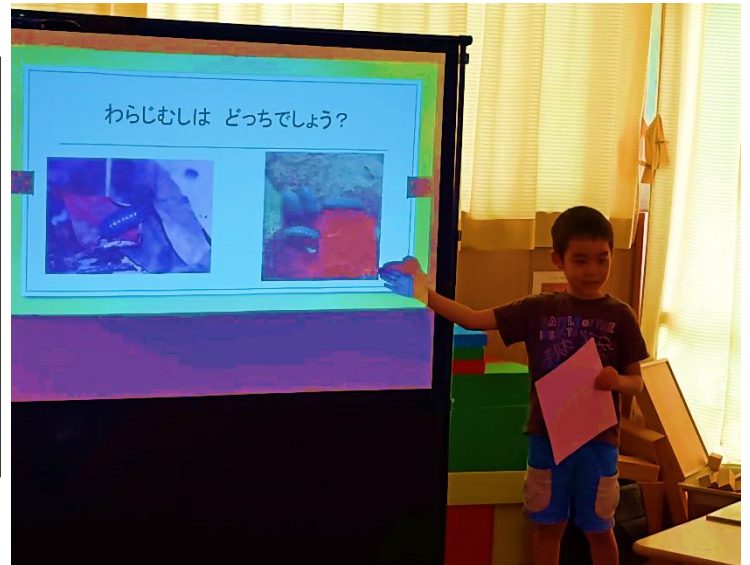


Mちゃん「やっぱりはめるしかないやん！」
そう言って完成したパズルを一度壊し、再びボードへはめ直していくMちゃんたち。きっと他にもやりようはありますが、こどもたちが考えたやり方なので保育士はそっと見守ります。
効率のいいやり方は経験の中で学んでいくのです。
同じパズルに再び取り組むMちゃんたちですが、今度はボードにはめていだけなので速い速い！
「これはかんたんやな！」なんて言ってあっという間に完成させました。
遊び慣れたおもちゃでもやり方次第で難しさが変わる。難しさが変われば楽しみ方が変わる。Mちゃんの遊びの転換、素敵ですね！

最強で最高の誕生日会

Tくんが自分の考えた昆虫クイズをみんなの前で発表しています。これは7月の誕生日会の出来事でした。

実はここまでするのにTくんの並々ならぬ努力がありました。昆虫クイズが出来上がるまでの約2週間。その準備過程に視点を向けたいと思います。



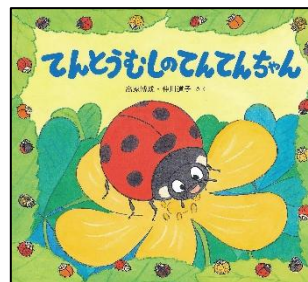
【はじまり】

7月の誕生日会、誕生児のTくんと一緒に何かできないかと考えたあかり先生はTくんに相談に行きました。最初は照れ臭いのか「なんもない」と言っていたTくんですが、少し時間を置いてから「昆虫クイズにしようかな」と考えてくれました。実はTくん、虫が大好きなのです。そんなTくんの溢れる知識を活用して昆虫クイズを作っていく事にしました。

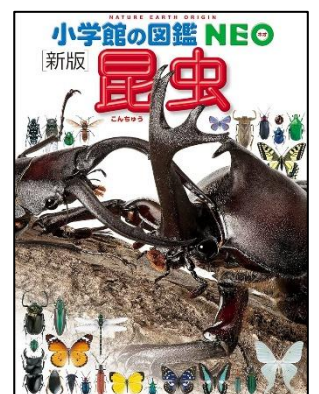
【問題を考える】

「ワラジムシとダンゴムシの写真を並べて、どちらがワラジムシなのかを答えるのはどう？」とTくんが問題を考えてくれました。私が「いいね。面白い！」と褒めたのをきっかけにTくんの中からアイデアが出てくる出てくる…！

セミの鳴き声クイズ、世界で一番大きなクワガタは？、テントウムシは足から苦い汁が出せる？出せない？などなど…。間違った情報を教えないようにTくんは昆虫図鑑や絵本を何度も読みながら考えてくれました。



Tくんの参考図書



【クイズの形式を考える】

クイズと言ってもいろいろあります。誕生日会には年少さんも参加します。みんなが等しく楽しむためにはどうすればいいのかTくんは悩んで「3択クイズ」「〇×クイズ」を採用しました。

「〇×クイズは〇の時は座って、×の時は立ってもらう」と参加方法まで考えてくれたTくんです。

【発表の仕方は？】

クイズがある程度決まったのでどのように発表するのかをTくんに聞いてみました。写真を印刷したり、問題を印刷したりできるよ、と提案してみる中、Tくんから驚きの一言。

Tくん「タブレットみたいにできる？」

あかり「タブレット…！？保育園にはないねん…」

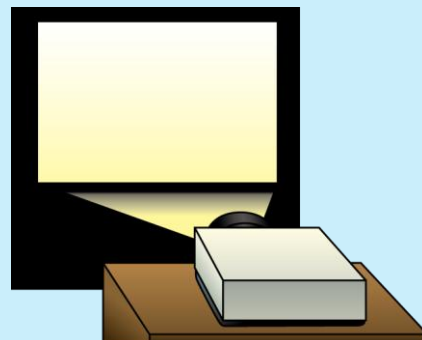
Tくん「そっかー」

あかり「プロジェクターはあるけど」

Tくん「プロジェクターって？」

あかり「スクリーンを立てて、パソコンの画面を大きく映し出せる装置やねん」

Tくん「あ！前に先生が使ってたやつか！それがいい！」



現代っ子ですね～。と言う事で無事に発表方法が決まり、あかり先生はパワーポイントを作ることに。

Tくんが考えてくれた問題をパワーポイントに入れていくのですが、Tくんのこだわりが炸裂します(笑)

「もう少し、字を大きくできる？」「この写真は真ん中にしてほしい」「こっちの動くやつ(アニメーション)がいい」などなど…。社員か！🌀と言いたくなるような細かい指示を出し、妥協を許さないTくんは素晴らしかったです。

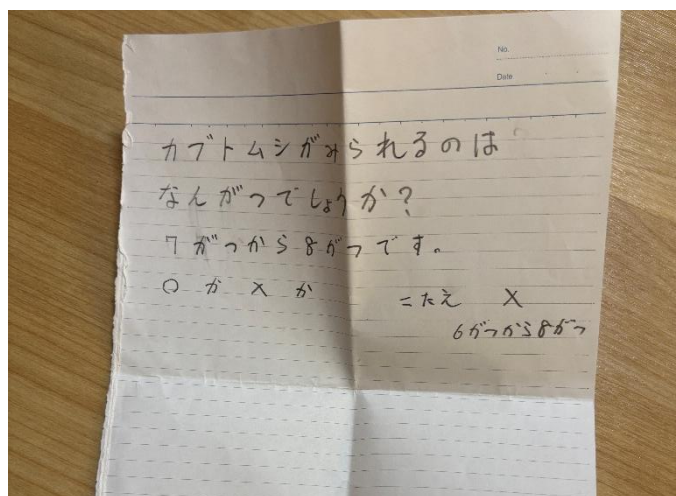
ここまでで約1週間でした。

【増えていくクイズ…】

Tくん「先生、問題考えてきてん」

休み明け、そう言って一枚の紙を渡しに来てくれました。誕生会まで残り5日。もうすでに沢山の問題を考えていたのにTくんはまだアイデアが出てくるのです。家に帰っても昆虫クイズを考え、土日でも昆虫クイズを考え、保育園でも昆虫クイズを考える。好きな事にはとことん夢中になれるのですね。

問題が増えるたび、あかり先生はパワーポイントのスライドを必死に作らせてもらいました(笑)



【練習を重ねて】

本番3日前、Tくんと練習をしました。心配性なTくんからスライドを印刷した紙にTくんが話す言葉を書き込んでほしいとお願いされ、全部書きました。そしてTくんは何度も何度も読んで練習をしました。

そして迎えた本番、「緊張する」と言っていたTくんは見事発表を終え、クイズ1つに一喜一憂するみんなの反応に満足そうでした。

「先生と一緒に出来たのしかったわ！」と終わってからTくんが伝えてくれました。あかり先生は泣きそうなぐらい嬉しかったです。

一緒に考えて作り上げていく保育の楽しさ、そしてこどもが自分で考えていく力のすごさを改めて実感できた出来事でした。



「よーく見て・・・当たり！」



これは、“絵が見えるようにカードを並べ、サイコロで出た絵のカードを早く取った人がもらえる”というゲームです。

「一緒にやろう！」と誘ってくれたので、「準備してて」と伝え、しばらく経って見に行くと、全て裏向きに並べて「準備できたよ！」と満面の笑みのIちゃん。



「反対だよ」とは伝えず、「どうやってするの？」と尋ねてみました。すると、「ふたつめくるでしょ」「これは一緒だから当たり！」と。同じ絵はないはずなので、どういう基準なのだろうと思い聞いてみると、「このふたつをよーく見て…」「ほらね！こここここの色がちょっとだけ一緒でしょ？」と、絵の中にあるほんの一部分の色を指して自信満々なIちゃん。

「これ、どういうルールなん？」と覗きにきた友だちにもしっかりとルールを説明し、「あ～、なるほど～」と納得してもらっていました。

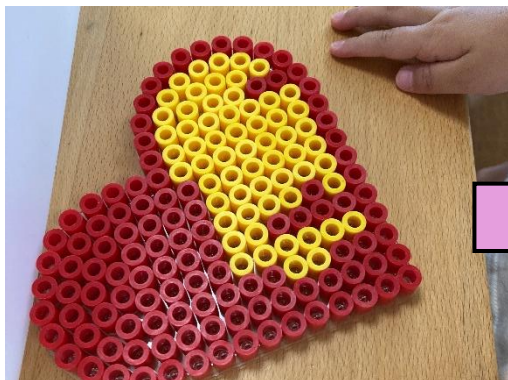


自分で考えてルールを見出す力、そして、相手に伝えようとする力が育っています！

決められたルールをきちんと守って友だちと楽しく遊ぶことも大切ですが、こんな風に自分の思うルールで楽しみ、相手に伝え、伝わったことが嬉しくて自信に繋がる。とっても素敵ですね。こどもが一生懸命に考えたことを「違うよ」と否定するのではなく、「どうしてこうしたの？」と問いを聞き、受け止め、豊かな想像力をどんどん育てていきたいです。

あ！できた！

アイロンビーズに黙々と取り組むHちゃん。
通常のアイロンビーズより大きいものですが、全部並べるにはそれなりの時間、集中力が必要になる遊びです。
一人じっくり取り組み、ここまで完成させたHちゃんです。



完成したのがこちら。
2色で作られたハートが可愛いです。

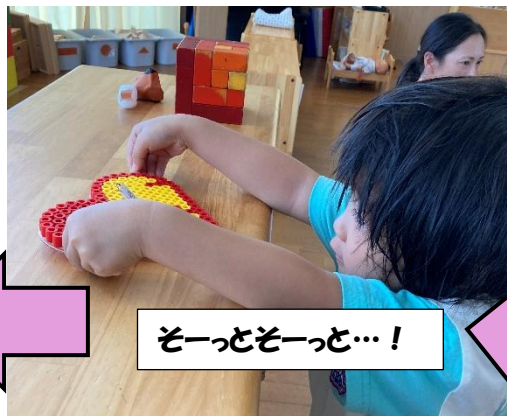


出来た！と言いたげに嬉しそうな表情で自分のマークを取りに行きました。

作ったアイロンビーズの上に自分のマークを置くと、今度はどこかへ運ぶHちゃん。



置けた！一人で出来た！



そーっとそーっと…！



そーっとそーっと…

棚に置こうとしたときに手を貸すか悩みました。バランスを崩して壊れてしまうんじゃないか…、そうなる前に助けてあげた方がいいかも？なんて。でも真剣な表情で頑張っているHちゃんを見て、「ちょっと任せてみよう」と思いました。保育士がハラハラしながら見守る中、Hちゃんは自分の力で飾ることが出来、満足気に保育士を見ました。「すごいね、できたね」と褒めてあげるとにつこり笑うHちゃん。
最初から最後まで自分の力だけで出来た経験はHちゃんの自信に繋がっていくことでしょう！

こどもの力を信じて“じっと待つ”。けっこう難しい事だと思っています。でも大人の力がない中でこどもは試行錯誤を繰り返して学んでいきます。その力が生きていく力に繋がっていくのです。もっとこどもの力を信じてあげたいと思えた出来事でした。

自分なりに考えて…楽しい・できた！！



これは『スピードカップス』という玩具です。遊び方として、5色のカップを一組持ち、対戦相手よりも先に、カードに描かれた色の順番にカップを並べて、ベルを鳴らした方がカードをもらえるというものです。

Sちゃんは、先にお友だちが遊んでいるのをじっと見ていました。

「Sちゃん、やってみる？」と尋ねると頷き、5色のカップやカードを揃えて、1人でやり始めました。

※一人で遊ぶこともできます。



「できた！」と言って、ベルを鳴らしたSちゃんカードの上に5色のカップを置いています。カードの上にカップを全部置くにはどうしたらいいのかな？と試行錯誤しています。（本来はカードの上には並べず、カードが見えるように近くに並べます。今回は自分でじっくり考えていた様子を見て、Sちゃんの気持ちを大切にしたいと思い、あえて本当のルールは言わないでおきました。）何度か遊んでいるうち、どこかでルールを知る機会があると思います。『そうやってやるんだ！』という心の動き・気づきを大切にしたいと思います。